

1. 科目名 (単位数)	基礎演習 I (1 単位)		3. 科目番号	GEBS1108
2. 授業担当教員	麻生 奈央子			
4. 授業形態	演習・ディスカッション・グループ発表		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	心理学とはどのような学問領域なのか、また、主な研究テーマや研究方法にはどのようなものがあるのかについて体験的に理解することを目標とする。 具体的には身近なテーマについて、質問紙法、実験法、観察法、事例研究といった心理学における代表的な研究方法を用いた簡単な演習を通して、自分自身の心理的特徴について理解し、あわせて基礎的な知識や技術を習得する。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学という学問領域、主な研究テーマ、研究方法について説明することができる。</li> <li>2. データ (事実) に基づいて、理論的・批判的に考え、意見を述べることができる。</li> <li>3. 心理学的なものの方、考え方を日常生活で応用することができる。</li> <li>4. 心理学を通して自己や他者、社会を理解することができる。</li> </ol>			
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	適宜、資料集めや下調べ、発表準備を行い、課題レポートを提出する。 授業時に適宜指示をする			
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 大野木裕明・宮沢秀次・二宮克美 (編)『調査実験 自分でできる心理学』ナカニシヤ出版。 <b>【参考書】</b> 必要に応じて、適宜、資料を配付する。また、他に参考書がある場合はその都度指示する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学という学問領域、主な研究テーマ、研究方法について説明することができるか。</li> <li>2. データ (事実) に基づいて、理論的・批判的に考え、意見を述べることができるか。</li> <li>3. 心理学的なものの方、考え方を日常生活で応用することができるか。</li> <li>4. 心理学を通して自己や他者、社会を理解することができるか。</li> </ol> ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、テスト、レポート、発表等を総合して評価する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平常点 (授業態度・授業への参加など) 30%</li> <li>2. 課題 (テスト・レポート・発表など) 70%</li> </ol> 上記の他に、本学の規定に定められている 3 / 4 以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。			
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業に積極的に参加すること。</li> <li>2. 教科書を中心に授業を行います。必ず教科書を携えて受講すること。</li> <li>3. 正当な理由なく、遅刻、欠席、早退をしないこと。</li> <li>4. 授業の妨害行為および他者への迷惑行為 (私語、居眠り、携帯・スマートフォンの使用、実習やディスカッションへの不参加など) をしないこと。これらの不適切な行為がみられた場合は厳格に対処する。</li> <li>5. 疑問がある場合は積極的に質問するなどして解決すること。</li> </ol> 受講生の理解や授業の展開によって、授業内容の一部や順番に変更が生じる可能性があります。			
13. オフィスアワー	授業の際に周知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション：授業内容の案内。心理学という学問についての説明	事前学習	シラバスを通読し、疑問点があればまとめておく。	
		事後学習	オリエンテーションの内容を踏まえ今後の授業に備える。	
第 2 回	心理学研究の方法：資料を集める	事前学習	図書館および情報処理室の利用可能時間、使用ルールを調べる。	
		事後学習	資料検索の方法を再確認する。	
第 3 回	はじめに知っておくべきこと：心理学の研究対象と様々な研究法	事前学習	心理学について知っていることをまとめてくる。	
		事後学習	授業内容を振り返り、自分の持っていた心理学のイメージと学問としての心理学の差について考える。	
第 4 回	見る私と見られる私 (1)：手法の理解と演習、分析と批評	事前学習	教科書に基づき演習を実施する。	
		事後学習	ワークシートをまとめる。	
第 5 回	見る私と見られる私 (2)：手法の理解と演習、分析と批評	事前学習	教科書に基づき演習を実施する。	
		事後学習	ワークシートをまとめる。	
第 6 回	見る私と見られる私 (3)：演習結果の発表	事前学習	これまでの演習法をまとめ、発表形式にする。	
		事後学習	発表を踏まえ、手法を再確認する。	
第 7 回	自分を知る (1)：手法の理解と演習、分析と批評	事前学習	教科書に基づき演習を実施する。	
		事後学習	ワークシートをまとめる。	
第 8 回	自分を知る (2)：手法の理解と演習、分析と批評	事前学習	教科書に基づき演習を実施する。	
		事後学習	ワークシートをまとめる。	

第9回	自分を知る(3): 演習結果の発表	事前学習	これまでの演習法をまとめ、発表形式にする。
		事後学習	発表を踏まえ、手法を再確認する。
第10回	対人関係(1): 手法の理解と演習、分析と批評	事前学習	教科書に基づき演習を実施する。
		事後学習	ワークシートをまとめる。
第11回	対人関係(2): 手法の理解と演習、分析と批評	事前学習	教科書に基づき演習を実施する。
		事後学習	ワークシートをまとめる。
第12回	対人関係(3): 演習結果の発表	事前学習	これまでの演習法をまとめ、発表形式にする。
		事後学習	発表を踏まえ、手法を再確認する。
第13回	学校から社会へ(1): 手法の理解と演習、分析と批評	事前学習	教科書に基づき演習を実施する。
		事後学習	ワークシートをまとめる。
第14回	学校から社会へ(2): 手法の理解と演習、分析と批評	事前学習	教科書に基づき演習を実施する。
		事後学習	ワークシートをまとめる。
第15回	学校から社会へ(3): 演習結果の発表	事前学習	これまでの演習法をまとめ、発表形式にする。
		事後学習	発表を踏まえ、手法を再確認する。